

安全データシート (SDS)

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤を使用してください。
 使ってはならない消火剤 情報なし
 火災時の特有の危険有害性 不完全燃焼すると、黒煙と共に一酸化炭素やスチレンなどの有害なガスが発生する恐れがあります。
 特有の消火方法 付近の着火源を断ち、保護具を着用して風上から消火してください。
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、適切な保護具（呼吸保護具）や耐火服を着用してください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 切屑、切り粉などで埃がたつた場合、マスクを着用してください。
 環境に対する注意事項 川、地下水、下水等への流出を防いでください。
 回収 ほうき等で掃き集めて、回収または法令に従って廃棄してください。
 二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に、消火剤を準備してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策： 切削加工など、切り粉が発生する作業を行う場合は、集塵設備を設けるか、防塵マスク・保護眼鏡などを着用してください。
 安全取扱い注意事項： 熱線カットや端材の減容など、製品を加熱溶融する作業では、条件によっては、可燃性ガスや樹脂の熱分解ガスが放出することがあります。十分な換気を行う（可能なら局所排気設備を設ける）とともに、必要に応じて有機ガス用のマスクを着用してください。
 接触回避： 水・酸・アルカリには安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されます。直接またはこれらの蒸気に触れないように注意してください。

保管
 衛生対策： 保管・貯蔵の条件によっては、製品から緩やかに可燃性ガス（発泡剤）が放出され、滞留する場合があります。密閉空間での保管貯蔵を避け、火気に注意してください。滞留しないように通風換気に注意してください。保管・貯蔵倉庫には、換気設備を設けることをお奨めします。
 安全な保管条件： ポリスチレンの性質上、紫外線に長時間曝されると、表面が変色劣化したり、脆い粉状になる場合があります。保管・貯蔵する場合には、日光を遮る覆いをかけるなど、紫外線対策を行ってください。

製品には燃焼遅延剤を添加して、微少火源では着火し難くしてありますが、燃える性質があります。
 輸送・保管・施工にあたっては、火気に触れないように注意してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 押出法ポリスチレンフォームの許容濃度は設定されていません。
 下記の許容濃度を適用してください。

	吸入性粉塵	ブタン	クロロエタン
日本産衛衛生学会勧告値	2 mg/m ³	1200 mg /m ³	260 mg /m ³
ACGIH	未設定	1000 ppm	100 ppm

イミダクロプリド： 急性毒性ラット（経口） LD50：約450mg/kg
 急性毒性ラット（経皮） LD50：≧5000mg/kg

設備対策 切り粉が発生する作業所には集塵設備を、製品を加熱溶融する作業所には局所排気設備・可燃性ガス測定器などを設置してください。

保護具
 呼吸用保護具： 切り粉が発生する作業所では防塵マスクを、製品を加熱溶融する作業所では有機ガス用マスクを、いずれも必要に応じて着用してください。
 手の保護具： 製品を加熱溶融する作業所では、耐熱手袋などを着用してください。
 眼、顔面の保護具： 切り粉が発生する作業所では、保護眼鏡などを着用してください。
 皮膚及び身体の保護具： 製品を加熱溶融する作業所では、溶融樹脂などが皮膚に付着しないように、長袖の保護衣などを着用してください。

安全データシート (SDS)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	常用の条件下では固体
形状：	板状
色：	水色～青色
臭い：	無臭
密度：	25 kg/m ³ 以上
酸素指数：	26以上 (JIS K 7201)
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界：	データなし
引火温度：	約345°C (ポリスチレンとして)
発火温度：	約490°C (ポリスチレンとして)
分解温度：	約285°C (ポリスチレンとして)
融点：	約80°Cから変形し始め、約120°Cを超えると徐々に軟化します。
沸点：	なし
揮発性：	なし
溶解性：	水・酸・アルカリ・アルコール系溶剤には不溶。その他の有機溶剤、石油類には溶解・膨潤・変形します。

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下では安定です。
避けるべき条件	火気や紫外線の暴露を避けてください。 アルコール系以外の有機溶剤・石油類及びこれらを含む薬剤、接着剤、塗料には侵されますので、接触を避けてください。
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	不完全燃焼すると黒煙とともに一酸化炭素などが発生します。

11. 有害性情報

刺激性	通常の使用条件下で刺激性はありません。 熱分解ガスは、目、皮膚、呼吸器官に刺激を与える場合があります。
急性毒性	知見なし
慢性毒性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし

12. 環境影響情報

分解性	生分解性はありません。 紫外線に長時間曝されると、ポリスチレンが劣化して、変色したり脆い粉状になります。
生態毒性	知見なし
生態蓄積性	知見なし

環境影響の具体的なデータはありませんが、海洋生物や鳥類が誤って摂取しないように、河川や海水域に投棄しないでください。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	産業廃棄物（廃プラスチック類）として、焼却または埋立て処分をしてください。
汚染容器及び包装	産業廃棄物焼却または埋立て処分をしてください。

焼却処理を行う場合には、「大気汚染防止法」及び「ダイオキシン類対策特別措置法」、埋立て処理を行う場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び都道府県毎に定められた「廃棄物の処分に関する条例」など、関連法規に従った処理を行ってください。廃棄物の処理を外部に委託する。

安全データシート (SDS)

14. 輸送上の注意

国際規制	分類区分に該当しない。
輸送上注意	製品の傷付きや欠けを防ぐため乱暴な取扱いを避けてください。固定用のロープを用いる場合には、段ボールを当てる等の傷付き防止策を講じてください。密閉された段ボールや荷室には可燃性ガス（発泡剤）が滞留する場合があります。段ボールや荷室を開ける際は、火気の取扱いに注意してください。喫煙、溶接等の着火源のない、風通しの良い場所で荷役作業を行ってください。積み荷の近くは火気厳禁としてしてください。輸送トラックには消火器を備えてください。
国内規制	
陸上運送：	消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従う。
海上輸送：	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送：	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	施行令18条の2 通知対象物質 ブタン、クロロエタン
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない

16. その他の情報

フロンガスは一切使用しておりません。
 グリーン購入法 特定調達品目「断熱材」の判断基準を満足しています。
 ホルムアルデヒド放散特性： F☆☆☆☆

本書に記載の内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、これらの情報は新しい知見により改訂されることがあります。注意事項は通常予測される取扱いを前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途用法に適した安全対策を実施の上でご利用ください。本書の記載内容は情報の提供であって、内容を保証するものではありません。

改訂履歴

1996年05月	初版
2006年05月	記載順序を JIS Z 7250 : 2005に準拠
2009年10月	PRTR法対象化学物質の改正に伴う変更
2015年05月	JIS Z 7253 : 2012に準拠して、SDSに様式を変更
2019年05月	会社名及び組成含有量を変更
2024年1月	JIS Z 7253 : 2019に準拠して様式を変更、組成含有量を変更